

医薬品タイムリー情報

管理医薬品の取り扱いについて

2019年9月27日の報道より、島根県立中央病院において毒薬の筋しかん剤「ロクロニウム」5mL入りの容器1本を紛失する事件が発生しました。

当院においては同効薬として『スキサメトニウム注40「マルイシ」』、『ベクロニウム静注用4mg「F」』を採用しております。この2品目に関しては薬局で在庫帳簿とチェック表を用いて毎日確認しています。夜間、休日等で薬剤師が不在の場合の持ち出しについては「休日・夜間の医薬品持ち出し手順」に従って、確実な持ち出しをお願いします。

当院採用薬

スキサメトニウム注40「マルイシ」



ベクロニウム静注用4mg「F」



※なお、薬局では他の管理薬（麻薬製剤・第二種向精神薬・抗悪性腫瘍剤・インスリン製剤・経口血糖降下剤・ジギタリス製剤・ワーファリン）についても在庫帳簿とチェック表で毎日確認しています。

これらの薬剤についても、夜間、休日等で薬剤師が不在の場合に持ち出す際には「休日・夜間の医薬品持ち出し手順」に従って、確実な持ち出しをお願いします。

備考：筋しかん剤とは？

筋しかん剤は手術などの際に筋肉の動きを弱めるために使われるもので、薬事法で毒薬に指定されています。

今回紛失事件が起こった薬剤は注射器などで血管に直接投与すると大人2人分から3人分の致死量にあたります。